

## ABK 秋祭り 2016 への参加を通じて

社会人 小池拓也

私にとっての ABK 秋祭りは今年で2回目になります。昨年初めて参加して、このお祭りの虜になりました。様々な国の留学生たちが思い思いの自国のパフォーマンスを发表或したり格安の値段で料理を販売したりと、そこで感じたことはまるで文化祭のような雰囲気だということです。祭りの会場は、普段日本語を学ぶ留学生の寄宿舍内なので、決して大きな規模ではありませんが、留学生との距離が近く交流もできるで、こんなにもアットホームな感じのイベントは初めてでした。本当に楽しくて、この日が終わると同時にまた来年も参加したいと決心するぐらいでした。

同時に私は、この日に初めて日韓アジア基金・日本のボランティアの一員として参加しました。当日、実際に会場に来て顔を合わせるまでは、正直不安な気持ちがありました。しかし、この組織は初参加の人も多く迎え入れてくれる雰囲気もあったため、すぐに緊張はやわらぎ、和気あいあいとした雰囲気の中活動に参加させていただきました。



忙しくも楽しい一日が終わりホッとして。これからお楽しみの出展者有志の懇親会です。

今年は昨年の経験を生かして、そしてより俯瞰した目線で当日に臨めました。今回の主な活動内容は、カンボジアへの教科書支援のための募金の呼びかけと、韓国茶の無料配布です。募金の呼びかけは、160円募金と称したもので、この金額がおおよそ教科書1冊分の支援につながります。なかなか積極的に声出しができなかったり、小さな声になってしまったりと、まだまだ未熟な点が多いですが、足を止めてくださった方々に対しては丁寧な説明を心掛

けて取り組みました。韓国茶の配布に関しては、4種類の味の中から好きな味を選んでもらうのですが、そこでお客さんとのコミュニケーションが生まれるので、年代や国籍の異なる方々から色々な意見をもらいました。なお活動に関しては、シフト制なので、ボランティアだけで1日が終わるということもなく、参加者としてもしっかり楽しむことができました。

私自身、ボランティア活動はこれまでの人生の中で、数えるほどしかありません。ボランティアには、ただ無償で奉仕するだけでなく、そこでしか知りえない知識や体験、人との出会い、新たな意識の芽生えなど、自分にとって様々な意味があると思います。感じることは人それぞれだと思いますが、私にとっては、日々の人生の中に彩を与えてくれると言ってもいいかもしれません。日韓アジア基金・日本でのボランティアは自分にとって非常に楽しくさせてもらっています。ですので、これからも定期的に続けていきたいと考えていますし、今後もしもご迷惑でなければ引き続きかかわらせていただけたら幸いです。毎回思うことではありますが、このような貴重な機会を頂きまして誠にありがとうございました。